基本エリアの名称

E－1

【エリアの特性】

＜自然＞

河川の水と丘陵部の緑にあふれるまち

エリア北側を寝屋川が流れ、丘陵部を源とする打上川が合流しています。合流点には、人工池や芝生広場、多目的運動広場（スポーツ・ゾーン）などがあり、レクリエーションの場となっている約 13ha の規模を有する打上川治水緑地があります。

また、その後背に広がる丘陵部の戸建て住宅を中心とした市街地には、宅内の緑や社寺の大きな楠木などもあり、治水緑地と合わせ緑あふれるまちとなっています。

＜歴史・文化＞

旧街道のまちなみや社寺林でうるおうまち

旧交野街道や公園と一体となった熱田神社、秦町のまちなみなど、多くの歴史的な資源に恵まれたエリアです。特に、加茂神社のケヤキやムクノキなどの樹叢は往来する人々のランドマークとして際だっています。

＜人工・都市＞

丘陵部にひらけた景観に恵まれるまち

太秦桜が丘や太秦中町などにおいては、戸建て住宅地が広がっており、閑静で落ち着きがあり、緑豊かで個性的なまちなみも形成されています。

また、エリアには、打上川治水緑地の他、大阪市水道局豊野浄水場や市民会館、東コミュニティセンター、第一中学校があります。

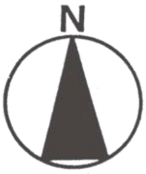
旧街道筋に残される昔の面影とともに、丘陵部にひらけた住宅地は、緑豊かで静寂な環境をつくりだし、景観に恵まれたまちとなっています。

景観整備の方向

治水緑地や太秦丘陵の豊かな緑を活かすまち

景観形成の基本目標	景観形成に向けた誘導基本方針
＜自然＞ ●打上川治水緑地や五藤ヶ池、新宮池などのため池を活用したうるおいのあるまち	●治水緑地やため池の水環境を活用する。 ・治水緑地の活用 ・治水緑地の背景となる住宅地の緑の景観の活用 ・五藤ヶ池の水辺の活用 ・新宮池の活用による自然と親水性に富む景観の創造
＜歴史・文化＞ ●太秦丘陵の環境と歴史的な環境が調和するまち	●旧集落地と新しい住宅地の調和を図る。 ・旧交野街道や加茂神社などの歴史的資源の演出と活用 ・旧集落地の風景の活用 ・回遊性の創造や演出による歴史資源の活用
＜人工・都市＞ ●比較的緑に恵まれた丘陵部の戸建て住宅地の住環境を守り育て、周辺都市的施設などと調和するまち	●地形の変化を活かし、緑豊かな住環境を守り育てる。 ・住宅地内での緑化推進により育まれる緑豊かなまちなみを活用

景観資源と特性図



■景観基本単位

名　称	＜旧集落地＞秦町・太秦元町	＜低層戸建住宅団地＞太秦緑が丘（太秦ハイツ）	＜低層戸建住宅団地＞太秦中町
景観整備の目標	○旧街道のまちなみ景観や加茂神社の社寺林を大切にし、うるおいのあるまちを守り育てる。	○住宅地内の緑化を推進し、治水緑地とともに、緑豊かな景観をつくる。	○丘陵部に広がる戸建住宅地として、生け垣や斜面地の貴重な緑を大切にし、良好な住環境を守り育てる。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○緑豊かで歴史を感じさせる散策路としての回遊性の演出による地域の歴史資源の活用	○丘陵地の住宅地の緑の活用 ○緑や建物の形態、意匠などのまちなみの育成に関するルールづくりなどの取り組みにより保全・育成されるまちなみの活用	○斜面地の緑の活用 ○熱田神社の社寺林や熱田公園の緑地の活用 ○豊野浄水場の緑や戸建て住宅地の緑の活用